

2022年度決算の概要及び2023年度計画

【2022年度実績】

- 当期純利益(当行帰属分)は3,250億円。
上場来最高益であった前年度に比べ300億円(△8.4%)の減益となったが、通期業績予想に対し、101.5%の達成率。
外貨調達コストの増加等、市場環境の変化を予め想定していた計画を上回る利益を確保。
- 2022年5月に公表した配当予想どおり、1株当たり配当金は50円。

【2023年度計画】

- 経常利益4,700億円、当期純利益(当行帰属分)3,350億円、1株当たり配当金は50円。
- 市場運用において外貨調達コストの高止まりが想定されるものの、引き続き戦略投資領域からの収益貢献を見込むとともに、株式等のリスク調整オペレーションに伴う売却益や役務取引等利益の増加等もあり、増益予想。
- 金融を中心に不確実性の高い状況が続いているが、マーケットビジネス(市場運用)で着実に利益の確保に努めるとともに、安定性の高い強固な事業基盤の構築に向け、リテールビジネスの更なる強化と、Σ(シグマ)ビジネスの基盤確立に注力。

	経常利益	当期純利益(当行帰属分)	配当
2022年度実績	4,555億円 前年度比△353億円(△7.1%) 予想比+105億円(達成率:102.3%)	3,250億円 前年度比△300億円(△8.4%) 予想比+50億円(達成率:101.5%)	50円/株 配当性向:57.5%
2023年度計画	4,700億円 前年度比+144億円(+3.1%)	3,350億円 前年度比+99億円(+3.0%)	50円/株 配当性向:54.0%